

北海道平取町「文化的景観」見どころMAP



重要文化的景観（国選定）
アイヌの伝統と近代の開拓による沙流川流域の文化的景観
Cultural landscapes of the Saru Valley formed by the Ainu tradition and reclaimed in recent times
重要文化的景観選定区域
二風谷・沙流川区域

平取町二風谷へようこそ！

見て、ふれて、味わって、文化を体感してみませんか。

イオルの森



午前

- 二風谷ダム管理所前 → ユオイチャシ跡 (徒歩で5分)
- ウカエロシキ → 平取町立二風谷アイヌ文化博物館・チセ群 (徒歩で1分)
- 沙流川歴史館(にぶたに湖展望台) → 旧マンロー邸 (徒歩で15分)

昼食

午後

- 菅野茂二風谷アイヌ資料館 → 民芸品店街(おみやげ)
- オプシスプリの展望場所 → びらとり温泉ゆから (入浴・びらとり名産品の販売)

おすすめ！1日見学コース

二風谷地区にある文化的景観の対象となる森林や伝承地の他、文化施設などを所々の駐車場から歩いて見て廻りながら、食事や買物を楽しむ事ができます。

「伝統的工芸品」の指定

2013年3月に経済産業大臣より、「二風谷イタ」(木現代に継承されるアイヌ伝統工芸のなかで、「二風谷イタ」(木製の平たい盆)と「二風谷アットツ」(樹皮からつくった糸を使った織物)は、100年以上の歴史が認められ、2013年3月に経済産業大臣より、北海道で初めて、「伝統的工芸品」に指定されました。

「北海道遺産」との関わり

「北海道遺産」とは、次の世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝物として、北海道の豊かな自然、人々の歴史、文化、生活、産業などの有形・無形の財産の中から、道民参加によって52件が選ばれました。平取町は、そのうちのアイヌ語地名「アイヌ文様」「口承文芸」の担い手としてその継承に取り組んでいます。

平取町百年記念史跡「歴史の散歩道」

様々な分野で活躍した偉人9人の記念碑が点在する散歩道「歴史の散歩道」の記念碑を巡って平取町の歴史をたどってみて下さい。

- 遠藤北舟**：アイヌ民衆の友人、アイヌの生活向上のために社会活動に励んだ。
- ニール・ゴードン・マンロー**：アイヌの文化を研究し、アイヌの生活向上に尽力した。
- エドゥアール・マリアー・ブライアント**：明治時代に平取で活躍した仏教宣教師、住民の啓蒙にあたりながら、キリスト教を広めるために活動した。
- 金田一助**：国語学者・民俗学学者、アイヌの口承文芸「ユカ」を世界的に有名にした功績は大きく、沙流川流域のアイヌから資料を集め、教養を講じたことが多かった。
- ジョン・パチラー**：民間伝承学・民俗学・言語学・人類学、アイヌの歴史を研究し、アイヌの生活向上のために活動した。
- 松浦武四郎**：幕末・維新期の北方探検家・著述家、開拓使、アイヌ民衆の友人、アイヌの生活向上のために活動した。「北海道」の名称を提議した。
- 金澤マツ**：アイヌの伝承者、アイヌイタ、熊手、今更の彫刻で暮らしアイヌ伝統文化の記録保存のために活動した。
- 佐藤清**：江戸後期の北方探検家・著述家、アイヌの生活向上のために活動した。
- 佐藤清**：江戸後期の女性旅行家・旅行作家、「日本奥地紀行」は、明治初期の民族学的記録として貴重なものもある。

平取町二風谷へのアクセス



- 車（自家用車・レンタカー） ※< >内はおおよその所要時間
- 札幌から <1時間50分>
道央自動車道⇒日高自動車道（日高富川IC下車）⇒国道237号
 - 新千歳空港から <1時間>
国道36号⇒日高自動車道（日高富川IC下車）⇒国道237号
 - 苫小牧から <1時間>
国道36号⇒日高自動車道（日高富川IC下車）⇒国道237号
 - 帯広から <2時間>
国道274号線（日勝峠）⇒国道237号

マップコードについて

マップコードは、日本全国の場所を簡単な数字を使って表記しているコードナンバーです。マップコードに対応したカーナビや、携帯電話などを使えば、簡単に目的地に行きつけます。「文化的景観見どころMAP」に掲載されている「」の後に続く9桁の数字を入力してご利用ください。

改訂版発行：2014年3月
平取町教育委員会文化財課
平取町立二風谷アイヌ文化博物館内
〒0550101 北海道沙流郡平取町宇二風谷55
TEL：01457(2)2892 / FAX：01457(2)2828
http://www2.town.biratorihokkaido.jp/biratorinibutani

味わう

1 びらとり温泉ゆから

レストランマトにて、「びらとり和牛」や「ニシバの恋人」をはじめとした、地元産の旬の食材を使ったメニューを提供しています。石釜で焼き上げる本格派のピッツァもおすすりめです。温泉内には、びらとり和牛の直売所があります。シバひらとの豚肉加工品も販売しています。

- 問合せ先：01457 (2) 3280
- 定休日：7月～9月不定休
- 定休日：無休
- 営業時間：11:00～21:00（ラストオーダー）

2 ランチハウスBEE

お薦めは、特製鹿肉入りコタンラーメン（特製みそ味）。シカ汁（鹿肉が入ったみそ汁）やワバコリという植物の繊維から採ったてんぷらなど作る園子など珍しいものも食べられます。旬の食材を活かした伝統的なアイヌ料理の弁当を完全予約制で販売しています。

- 問合せ先：01457 (2) 3540
- 定休日：7月～9月不定休
- それ以外は予約の弁当を除き休業
- 営業時間：10:00～15:00

3 ドライフインユーカラ

地場産の食材を使用した定食やラーメンなどメニューが豊富。おすすりめは、キトヒロ（行者にんにく）入りラーメン、松茸チャーハンなど。柔らかい豚カツは地元の人にも人気があります。

- 問合せ先：01457 (2) 3588
- 定休日：年中無休
- 営業時間：10:00～19:00

4 村の駅

特製豚丼がおすすりめ。庭石屋さんのご主人が作るお手製のプランターに山野草を植えて販売しています。店内には、石を組み合わせたユニークなトイレもあります。

- 問合せ先：01457 (2) 3252
- 定休日：5月～9月 無休
10月～4月 日曜日
- 営業時間：5月～9月 10:00～17:00
10月～4月 10:00～15:00

くつろぐ

1 びらとり温泉ゆから

ゆからの湯は、無色透明な強塩冷鉱泉。体を芯まで温めて、心にも潤いを感じてくれます。平取町の銘石「幸太郎石」を配し、眼前に広がる森の四季の移ろいを感じることが出来る露天風呂が好評です。

- 問合せ先：01457 (2) 3280
- 定休日：無休
- 入浴時間：10:00～22:00（最終受付21:30）
- 入浴料：大人 ¥420（中学生以上）
子供 ¥140（幼児無料）

2 二風谷ファミリーランド キャンプ場

パークゴルフ、テニスコート、ローラースケート、ゴーカート等、いろいろな遊びができる複合施設です。

- 問合せ先：01457 (2) 3280
- 定休日：毎月第4月曜日
- 料金：フリーサイト ¥500
区画サイト ¥2,000～¥4,000
バンガロー ¥3,000～¥6,000

3 民宿チセ

民宿のご主人による山への散策やアイヌ料理の体験学習（10人以上要予約）ほか、宿の女将さんによるアイヌ刺繍の体験もできます。学生向けの合宿にも利用できますので、お気軽にお問合せください。

- 問合せ先：01457 (2) 2559 / Fax (2) 4021
- 定休日：年中無休
- 料金：1泊2食付 ¥5,500～（夕食料理別料金）

4 民宿二風谷荘

雨天でも対応できるテントを設置してあるため、夏は外でバーベキューが楽しめます。春には行者にんにくなどの山菜、秋にはきのこ等、宿の女将さんが朝早くから山で採取した季節の味が楽しめます。

- 問合せ先：01457 (2) 2027
- 定休日：不定休
- 料金：1泊2食付 ¥5,500～（冬季別料金）

楽しむ

1 平取町アイヌ文化情報センター

二風谷民芸の組合員によるアイヌ伝統工芸品を展示・直売しています。また伝統工芸品の体験学習も予約で行います。ムックリ（竹で作られた口琴）、木彫コースター、刺繍コースターなどを体験できます。

- 問合せ先：01457 (2) 3299
- 定休日：年末年始（12/31～1/5）
- 営業時間：9:00～17:00

2 つき民芸

手作りの民芸品やおみやげ物、平取町特産のトマトジュース、フルベリー入りソフトクリームなどが多数取りそろえられています。店内には休憩スペースもあります。

- 問合せ先：01457 (2) 3887
- 定休日：3/21～3/11/9は無休
*11/30～3/20までは定期休業
- 営業時間：9:30～17:15

3 北の工房 つとむ

北海道アイヌ協会推薦の優秀工芸師に選ばれた店主が彫り出す工芸品の数々は、繊細なアイヌ文様が彫り込まれています。また、北に生息する動物たちをモチーフにした、オリジナルの木彫工芸品などが多数そろっています。売店の隣の工房で制作の見学ができます。

- 問合せ先：01457 (2) 3660
- 定休日：年中無休
- 営業時間：8:00～18:00

4 高野民芸店

北海道が好きで移住し、プロの工芸家になったご夫婦がアイヌ伝統工芸品を作り販売しています。アイヌ文様が丁寧に彫り込まれた、メノコイタ（まな板）や針一針丁寧に縫われた刺繍などが手に取ってご覧いただけます。

- 問合せ先：01457 (2) 3397
- 定休日：不定休
- 営業時間：9:00～17:00

5 つとむ民芸

北海道アイヌ協会推薦の優秀工芸師である店主が作る、繊細なアイヌ工芸品が所狭しと飾られています。ご主人ののびやかな高知のアイヌ工芸品や、ライディングネットなど、工芸品販売店ならではの品が揃っています。

- 問合せ先：01457 (2) 3660
- 定休日：不定休
- 営業時間：8:00～18:00

6 貝沢民芸

一つひとつ丁寧に作られているアイヌ伝統工芸品が店内にたくさん置かれています。アイヌ文様を施した刺繍コースターなども多数取りそろえています。有料で刺繍やオビョウ皮の糸つくり、丁寧に織られたアットツの製品も販売しています。

- 問合せ先：01457 (2) 2584
- 定休日：不定休
- 営業時間：8:00～18:00

7 藤谷民芸

アットツ（樹皮から糸を作り織られる伝統的工芸品）を店主が織っています。アットツのバッグや刺繍コースターなども多数取りそろえています。有料で刺繍やオビョウ皮の糸つくり体験等を行っています。ムックリの鳴らし方も優しく教えてくれます。

- 問合せ先：01457 (2) 3408
- 定休日：不定休
- 営業時間：9:00～17:00

8 福ちゃん民芸

木彫工芸家の店主が作るイナウボボというオリジナル製品の販売をしています。イナウボボには、夫婦仲良く長生きできますようにとの願いが込められています。ほかにも木彫りの馬の制作、しまふくろうなどの北の動物などが店内いっぱい飾られています。

- 問合せ先：01457 (2) 2874
- 定休日：不定休
- 営業時間：9:00～17:00

イベント

- すすらん観賞会** 6月上旬/すすらん野生地
文化的景観区域にある15haの広大なすすらん野生地。すすらの香りが漂う中、白樺の下に咲くすすらの花を見ながら、イベント期間中は名産の平取和牛や特産品の販売が楽しめます。
- 幌尻まつり** 7月下旬/幌内鉄道記念公園
7月下旬に行われる夏祭り。冬の間貯蔵しておいた幌尻岳の雪で遊んだり、びらとり和牛や特産品などが販売されます。
- 義経神社例大祭** 8月14日～16日/義経神社
毎年、お盆に行われる夏祭り。白装束を身にまとい神輿を担ぎ町を練り歩きます。長い階段に灯籠が下がり、幻想的な雰囲気漂います。
- チブサンク** 8月下旬/二風谷地区沙流川周辺
毎年、沙流川にチブ(丸木舟)を浮かべて遊ぶ進水式の儀「アイヌの舟下ろし」で、一本の木から削り出されるチブは、一年に一度だけ川に浮かべられます。全国からこのチブに乗るためにたくさんの方が訪れています。
- びらとり沙流川まつり** 9月下旬/二風谷ファミリーランド
9月の第三日曜日に行われる、二風谷ファミリーランドを会場にした平取町最大のイベント。びらとり和牛のバーベキューや農産物の直売など家族で楽しめるお祭りです。
- 全道PKグループ** 2月上旬/二風谷ファミリーランド
全道からチームを募り、雪の上で練り上げられる、PK合戦。子どもから大人まで白い息を吐きながら熱い戦いが行われます。

平取町の特産品

平取産米 ニシバの恋人

平取町の想いをギュッとこめた「ニシバの恋人」。太陽の光を浴びて育ったお米は、お米の味も香りも違います。お米の味も香りも違います。お米の味も香りも違います。

平取特産果毛和牛

びらとり和牛は、北海道日高山脈のふもと豊かな大自然と気象条件に恵まれた水と土地を利用し、健康で、のびのびと育てられた和牛です。柔らかく、口中でとろける、味わいのある美味しいお肉です。

平取町重要文化的景観の選定について

文化的景観とは、「地域における人々の生活又は生業及び当該風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のために欠くことができないもの」のことです。文化財としての価値が特に重要な「重要文化的景観」として、「アイヌの伝統と近代の開拓による沙流川流域の文化的景観」が2007年7月に国によって全国で3番目に選定されました。このマップは、下図のB・F区域を対象としています。



「アイヌの伝統と近代の開拓による沙流川流域の文化的景観」

区域(景観単位)名	所在地・面積
A:ピラウトルナイ区域(ベンケ・パンケ) ◇北海道日高地方における里山的景観	平取町字川向、字小平 19,287,600㎡
B:二風谷区域(ニフタニ) ◇アイヌの伝統を伝える山野と集落の景観	平取町字二風谷 13,022,979㎡
C:芽生区域(メム) ◇峡谷との対照が際立つ戦後開拓地の景観	平取町芽生 102,494㎡
D:宿主別区域(シュクシベツ) ◇牧野・牧野林とスズラン群生地等の景観	平取町芽生 3,104,855㎡
E:額平川区域(ヌカピラ) ◇自然とアイヌの伝統、開拓の営為が織り成す多文化な河川景観	総主別川河口～額平川・アブシ川合流点付近の河川 2,207,824㎡
F:沙流川区域(シシリムカ) ◇自然とアイヌの伝統、開拓の営為が織り成す多文化な河川景観	にぶたに湖上流端～新平取大橋間の河川敷地 6,084,550㎡

文化的景観からみた二風谷・沙流川区域の特徴

「アイヌの伝統を伝える山野と集落の景観」
にぶたに湖対岸に広がる町有林「イオルの森」と国有林は、これまでの林業の歴史が反映された森林景観を呈しており、オプシヌプリなどのアイヌの伝説地として語り継がれる露出岩がみられ、山菜・キノコ類の採取地として町民に親しまれてきました。二風谷集落は、アイヌの人たちによる文化継承・振興のための活動がいまも活発に行われており、アイヌ文化の香り高い地区です。

「自然とアイヌの伝統、開拓の営為が織り成す多文化な河川景観」
沙流川流域の多様な自然資源の恵みを受けて、古くからアイヌ文化が形成されてきました。また、下流域は、平取町の代表的な農産物である米やトマトの生産地としての農村景観や軽種馬生産の牧場景観が連なっています。

林業の歴史を反映した森林景観の特徴

このあたりの森林はもともと針葉樹と広葉樹が混在した針広混交林であったと考えられ、江戸後期から明治にかけては、価値の高い大径木の針葉樹を選んで伐採(抜き伐り)されていたようです。その後、近代化により急速な伐採が進み、民有林では効率性を重視して針広混交林全体を伐採(皆伐)したことにより、針葉樹は切り株から再生することなく消失していき落葉広葉樹林となりました。それに対して、国有林では皆伐ではなく抜き伐りでの森を壊すことがなかったことから、樹木が小型化したものの針広混交林の景観が現在も維持されています。イオルの森は、町有林となる以前は民間が所有し、樹木を伐採して販売する林業が営まれていたことから、現在は広葉樹林となり、隣接する国有林とは異なった景観となっています。



沙流川の自然と二風谷の人々が育ててきた文化的景観は、アイヌの伝統文化とともに多様な文化の共生の歴史をあなたに語りかけてきます。

0m 500m 1km

重要文化的景観選定区域境界線
町境界線
集落地域境界線

むかわ町

文化的景観からみた二風谷・沙流川区域の特徴

「アイヌの伝統を伝える山野と集落の景観」
にぶたに湖対岸に広がる町有林「イオルの森」と国有林は、これまでの林業の歴史が反映された森林景観を呈しており、オプシヌプリなどのアイヌの伝説地として語り継がれる露出岩がみられ、山菜・キノコ類の採取地として町民に親しまれてきました。二風谷集落は、アイヌの人たちによる文化継承・振興のための活動がいまも活発に行われており、アイヌ文化の香り高い地区です。

「自然とアイヌの伝統、開拓の営為が織り成す多文化な河川景観」
沙流川流域の多様な自然資源の恵みを受けて、古くからアイヌ文化が形成されてきました。また、下流域は、平取町の代表的な農産物である米やトマトの生産地としての農村景観や軽種馬生産の牧場景観が連なっています。

林業の歴史を反映した森林景観の特徴

このあたりの森林はもともと針葉樹と広葉樹が混在した針広混交林であったと考えられ、江戸後期から明治にかけては、価値の高い大径木の針葉樹を選んで伐採(抜き伐り)されていたようです。その後、近代化により急速な伐採が進み、民有林では効率性を重視して針広混交林全体を伐採(皆伐)したことにより、針葉樹は切り株から再生することなく消失していき落葉広葉樹林となりました。それに対して、国有林では皆伐ではなく抜き伐りでの森を壊すことがなかったことから、樹木が小型化したものの針広混交林の景観が現在も維持されています。イオルの森は、町有林となる以前は民間が所有し、樹木を伐採して販売する林業が営まれていたことから、現在は広葉樹林となり、隣接する国有林とは異なった景観となっています。

イオルの森
(沙流川歴史館上展望所からの眺め)

国有林

オプシヌプリ

ウカエロシキ
ウカエロシキ
二風谷ダム管理所

オナネウシ
オナネウシ

交流の文化を伝える歴史景観

伝統文化を伝える集落景観

小平(こびら)
アイヌ語のクピラ(クマ、オア、ピラ)に由来。動物を捕るための仕掛けが置かれた崖という意味。

アイヌ文化を育む沙流川と森林景観

精神文化を支える自然景観

二風谷(にぶたに)
アイヌ語のニフタイ(ニニ立木・新、タイニ森・林)に由来。うっそうとした密林という意味。

二風谷(にぶたに)
アイヌ語のニフタイ(ニニ立木・新、タイニ森・林)に由来。うっそうとした密林という意味。

観測点: 観望の対象となる景観を広く見られる場所
 観望台: GS: バイク: トイレ: 駐車場: 郵便局: 交通: 通行止
 アイヌ語に由来する地名の紹介 (平取町立二風谷アイヌ文化博物館 調べ)

0m 500m 1km

重要文化的景観選定区域境界線
町境界線
集落地域境界線

平取町

文化的景観からみた二風谷・沙流川区域の特徴

「アイヌの伝統を伝える山野と集落の景観」
にぶたに湖対岸に広がる町有林「イオルの森」と国有林は、これまでの林業の歴史が反映された森林景観を呈しており、オプシヌプリなどのアイヌの伝説地として語り継がれる露出岩がみられ、山菜・キノコ類の採取地として町民に親しまれてきました。二風谷集落は、アイヌの人たちによる文化継承・振興のための活動がいまも活発に行われており、アイヌ文化の香り高い地区です。

「自然とアイヌの伝統、開拓の営為が織り成す多文化な河川景観」
沙流川流域の多様な自然資源の恵みを受けて、古くからアイヌ文化が形成されてきました。また、下流域は、平取町の代表的な農産物である米やトマトの生産地としての農村景観や軽種馬生産の牧場景観が連なっています。

林業の歴史を反映した森林景観の特徴

このあたりの森林はもともと針葉樹と広葉樹が混在した針広混交林であったと考えられ、江戸後期から明治にかけては、価値の高い大径木の針葉樹を選んで伐採(抜き伐り)されていたようです。その後、近代化により急速な伐採が進み、民有林では効率性を重視して針広混交林全体を伐採(皆伐)したことにより、針葉樹は切り株から再生することなく消失していき落葉広葉樹林となりました。それに対して、国有林では皆伐ではなく抜き伐りでの森を壊すことがなかったことから、樹木が小型化したものの針広混交林の景観が現在も維持されています。イオルの森は、町有林となる以前は民間が所有し、樹木を伐採して販売する林業が営まれていたことから、現在は広葉樹林となり、隣接する国有林とは異なった景観となっています。

イオルの森
(沙流川歴史館上展望所からの眺め)

国有林

オプシヌプリ

ウカエロシキ
ウカエロシキ
二風谷ダム管理所

オナネウシ
オナネウシ

交流の文化を伝える歴史景観

伝統文化を伝える集落景観

小平(こびら)
アイヌ語のクピラ(クマ、オア、ピラ)に由来。動物を捕るための仕掛けが置かれた崖という意味。

二風谷(にぶたに)
アイヌ語のニフタイ(ニニ立木・新、タイニ森・林)に由来。うっそうとした密林という意味。

観測点: 観望の対象となる景観を広く見られる場所
 観望台: GS: バイク: トイレ: 駐車場: 郵便局: 交通: 通行止
 アイヌ語に由来する地名の紹介 (平取町立二風谷アイヌ文化博物館 調べ)

長知内(おさちない)
アイヌ語のオサツナイ(オニ、サツニ、乾く、ナイニ、沢)に由来。乾期になると流水がなくなると川底が乾く川という意味。

荷負(におい)
アイヌ語のニオイ(ニニ新、オニニある処)に由来。新として利用した流木がたくさん流れ着いた場所という意味。

貫気別(ぬきべつ)
アイヌ語のヌキベツ(ヌキニ濁り水、ベツニ川)に由来。水が濁りやすい川という意味。

アイヌ伝説・伝承・チャシ跡
アイヌの人たちが奇岩や崖地、山全体の形などを題材にして、物語などを受け継いできた伝説や伝承の地があります。

1 オプシヌプリ	2 スルクウンコツ	3 ウカエロシキ
4 オケネウシ	5 イルエカシ	6 オチルシ
7 オキクルミのチャシ	8	9

チャシ跡とは、かつて多くは自然地形を活かして構えられていた、砦、柵、柵囲いという意味のチャシの跡地で、儀礼や交易の場などの役割ももっていたと言われています。

▲ コオイチャシ跡	▲ ポンカンカンチャシ跡	▲ シラツセチャシ跡
▲ ニナツミチャシ跡	▲ カンカン2遺跡	

文化・教養施設
Cultural and educational institutions

1 平取町立二風谷アイヌ文化博物館
442 799 097
アイヌ伝統文化の今日的継承を運営理念とする町立博物館。沙流川流域で培われ、受け継がれるアイヌ文化を学ぶことができます。

2 沙流川歴史館
平取町の遺跡から出土した遺物を整理収蔵しています。実物大の動物を木彫で再現したジオラマや近代産業の紹介など、沙流川の自然、沙流川人との関わりを展示しています。

3 釧野茂二風谷アイヌ資料館
442 768 866
民族文化の研究者で自身もアイヌ民族である故郷野茂氏が、約半世紀の時間をかけて収集したアイヌ民具や海外の民族資料、地域の農機具などを幅広く展示しています。

4 旧マンロー邸
442 769 724
スコットランド出身の医師で人類学者の故N・G・マンロー氏の旧邸宅兼診療所。アイヌ文化の研究に力を注ぎ、晩年は二風谷に永住し多くの記録映画や著作を残しています。趣味的な診療など、その功績は今も語り継がれています。

5 二風谷ダム管理所(資料室)
442 768 17
ダムについてのパネルや模型等の資料を閲覧できる資料室があります。沙流川流域の水害史や、魚道の様子などがわかりやすく解説されています。

伝説・伝承・歴史スポット
Places telling of legend, transmission and history

1 オプシヌプリ
観望台 442 830 513
にぶたに湖対岸(沙流川右岸)の国有林内にあります。オキクルミカムイが弓に矢をつかえ、射撃したとされる伝説がある山です。明治31年の大水害の時まで、くぼみの上の部分が残っていて、穴の跡が残ったといわれています。夏至には、窪みに太陽が沈んでいく様子を見にたくさんの方が訪れます。

2 ウカエロシキ
観望台 442 768 513
ウニ互いカニニエニそこニハツキニ立つ、まるで大きな熊が山を駆け上るように見える、熊の姿をしている岩壁です。オキクルミカムイが獅子連れの熊を見つけて射ようとする、逃げてしまし、しくら道いかけも通し付かないため、神である私の矢を受けようと思わず逃げるのであれば、走っている熊の姿で君にしてやる」と矢を放ったとされる伝説の岩です。

3 オキクルミのチャシ 及び ムイノカ
観望台 567 010 023
沙流川流域のアイヌに、生活文化を教えたとされるオキクルミカムイの矢標が使っていたという伝承が残るチャシが額平川河口近くの左側にあります。崖がカムイの世界に象るときにアイヌモシリを名づけたと意味し、かつては半月形の「真(み)の形象」(ムイノカ)がチャシより少し下流方向に残されています。

4 イオルの森
にぶたに湖対岸(沙流川右岸)にある町有林で、昔も今も食料や生活用具の素材採取の場所として地域の人のために残されている里山です。イオルとはアイヌ語で山・岩場などを意味し、かつては額平川へ行くための道もありました。現在は約210畝の広大な森の保全・活用が進められています。

5 旧二風谷青年会図書館
明治44年、二風谷尋常小学校新築に伴って建てられた図書館で、北海道でも2番目に建てられた図書館といわれています。現在も国道237号線に面した二風谷小学校敷地内にあります。

6 金田一京助歌碑
釧野茂二風谷アイヌ資料館前庭に昭和43年に建てられました。言語学者・国語・国文学者である、故金田一京助氏によって沙流川流域のアイヌから聞き取れたユカ(英雄叙事)等は、アイヌ伝説文化を語る貴重な資料として今日に伝えられています。歌碑には、「物もいわず 声も出さず 石はただ全身をもって おれを語る」と刻まれています。

7 沙流頭首工
442 707 003
頭首工とは、河川から農業用水路に水を取り入れる施設です。大正4年、沙流土合組合員の尽力により造られました。二風谷ダムの完成に伴いその役目を終え、現在は頭首工のみが保存されています。二風谷ダム堤体下流の沙流川右岸にあります。

8 遠里北斗石碑
二風谷小学校前庭にあります。遠里北斗は、バチラ八重子、森竹竹と並ぶ、「アイヌ三大歌人」の一人と言われています。昭和4年、29歳で亡くなるまで、アイヌ民族の地位向上のために活動していた首長。石碑には、「沙流川は昨日の雨で水漲りコタンは昔、鳴きつつ行くなど2首が刻まれています。